

布団の「即日仕上げ」、予想以上の好調

1点6000円でも利用される仕組みとは

「布団の達人」というブランド名で、寝具類（主に敷き・掛け布団）の即日仕上げサービスを昨年12月から開始したのは、(株)ホームドライ栄（愛知県安城市、栄敏和社長）。刈谷市内にある1号店での反響が「想像以上だった」と手応えを掴んだ栄社長は、早速1月に碧南市内に2号店をオープン。一体どのような仕組みで行い、好評の理由はどこにあるのか？ 栄社長取材した。

コロナの影響による清くないと、夜の寝床が無い。トが発生するが、そこに潔意識の高まりも追い風。そこで栄社長が取り組んだのが、即日仕上げに用。コロナ禍ならではのアイテムが減った中、するための仕組み構築。戦い方を選択した。唯一上がった」と栄社長「納期の問題がクリアで

が話すが寝具類。新たなビジネスチャンスとして目をつけたのは自然な流れだった。

だが、布団のクリーニングにおいて最もハードルとなるのが納期。大抵一人一枚しか持っていないため、「洗いたい」となっても当日中に仕上げられなかった。

「新規開設（クリーニング）6000円、2点で1万枚の敷布団も仕上がる。グーグルは同社の同社スタッフであるほか、毛布は2000円、消費・防ダニキスパー碧南店」に開設した2号店も同様の形態だ。



▲既存店舗に併設した「布団の達人」

愛知県 (株)ホームドライ栄



▲新たに導入した布団専用機。静型乾燥機、タンブラー、いずれもTOS Eー製

kgの水洗機、35kgのタンブラー1台。所要2時間30分あれば1枚の敷布団も仕上がる。

「拘束時間」だ。コインランドリーでは洗濯から乾燥まで完了する間、常にそれを気に留めておかなければならない。特に乾燥に関しては使い方の問題もあり、上手に乾かさない場合も多く、何度も乾燥機を回したり、「家帰って触ったらまだ湿っていた」という意見もあったという。そこでクリーニング業者が洗いから乾燥まで行う「プロによる洗い」を打ち出せば、即日仕上げのニーズを取り込め、差別化に繋げられる

▲地元紙でも紹介された



▲地元紙でも紹介された

「想定外の倍出た」といって1点6000円、2点で1万円。高い料金設定ではあるが、裏を返せば、先述の通り、布団類は

3年以内にフランチャイズ展開へ

「想定外の倍出た」といって1点6000円、2点で1万円。高い料金設定ではあるが、裏を返せば、先述の通り、布団類は



▲ホームドライ栄・栄敏和社長



こんなお悩みありませんか？

人手不足による営業時間の延長が難しい
クリーニングロッカーを入れたいけれど高い
クリーニングロッカーを置く設置スペースがない

ゼンドラ(株)社内にSPACERロッカーのショールームをご用意しております。
見学・お試しに!!
お気軽にどうぞお越しください!!
(事前にお電話にてお申し込みください)

●サイズは幅50cm×奥行き60cm×高さ180cm ●屋外設置も可能です。

スマホで開け閉め 受け渡しロッカー

SPACER

for クリーニング

Step1
お客様のスマホにURLを送り

▶

Step2
ロッカーに品物を取りに来てもらうだけ

いつでも取りに行けるから便利!

詳しくはこちらからアクセス▶▶▶

https://peraichi.com/landing_pages/view/zendra

